前回8月29日の例会記録

出席の状況

会員数 54名(内出席免除 3名) 出席者数 44名 欠席者数 10名

出席率 84.62% 前々回訂正 90.38%

欠席者 樋口,入江,加戸,木本,家守,小松原,丹治,氏房,(平野),(渡辺)

ビジター

表敬訪問〈岡山北RC〉会長 双田 直 様 幹事 岸本 達也 様

〈岡山RC〉岡本 典久 様、 中島 義雄 様



S.A.A.

岡山北ロータリークラブ様:

岡本(和)会員:・岡山北RCの双田会長様、岸本幹事様ご訪問ありがとうございます。

・猛暑続きの8月も終わろうとしています。会員の皆様のご健康を祈念して。

末吉会員:岡山北RC会長双田様、幹事岸本様、ようこそお越しくださいました。

竹本会員:お誕生日に素敵な花束をありがとうございました。何歳になってもとても嬉しいものですね。会員の皆

様に感謝してスマイルいたします。

相原会員:岡山北RCの双田会長、岸本幹事、ご訪問ありがとうございます。双田会長とは幹事の同期として陰

ながら応援しております。

槌田会員: 久しぶりの出席ですのでスマイルします。 西岡会員: 小松原様、先日はありがとうございました。

7件 29.000円 (累計 272.000円)

|会長報告/

マラリア

会長岡本和夫



マラリアは、歴史に記された病気のうち最古のものの1つであります。地中海地域では古代から20世紀中盤までよく見られ、古代ギリシャやローマ帝国の衰退にこの病気がかかわったと考える学者もいます。今日マラリアは大部分がアフリカ、アジア、そしてラテンアメリカの熱帯、亜熱帯地方の100の国に限られています。第一次、第二次世界大戦とも、中東、北アフリカ、そして特に太平洋方面で戦う兵士にとって深刻な問題でありました。

この病気は悪臭のする、よどんだ湿地や沼地の近くで発生し、ここから発生する有毒、有害な蒸気より起こると考えていたので、イタリア人は「悪い空気」という意味の「mal'aria」という名前をつけました。

この病気は蚊、病気を起こす寄生虫、そしてホストとなるヒトで構成されます。マラリアを媒介するハマダラカは、アノフェレス属に60種類、ヒトに寄生する原生動物が4種類一最も致死的である熱帯熱マラリア原虫プラスモジウム・ファルシパルム、三日熱マラリア原虫P. ビバックス、卵形熱マラリア原虫P.オバール、四日熱マラリア原虫P.マラリアーあります。この寄生原虫を持っているメスのハマダラカが人を刺すと、その寄生虫が血中に入り込み、肝臓の中で成長して形を変え、次に赤血球に侵入していきます。熱による発汗と冷汗、高熱、頭痛、不快感と痛み、貧血を起こし死に至ることが多い。

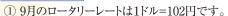
1897年イギリスの軍医ロナルド・ロスがインドで、マラリアの原虫を発見しました。

予防および治療はキニーネ、殺虫剤DDT、アルテミシニンを中心とした複合療法などがあります。

アヘンは古代から薬として、また娯楽用として使用されていました。19世紀、イギリスで使われるアヘンはほとんどインドから来ましたが、イングランド東部のフェンという沼沢地帯で、地元民は古くからケシを栽培していました。この地方ではかつてマラリアが流行していて、アヘンは「瘧」という発作的な震えに効くとされ、地ビールに混ぜたり、子供の場合はケシ入りの茶として飲まれました。マラリアとアヘン中毒の結果、フェン地方の幼児死亡率は高かった。

幹事報告/

幹事末吉賢多



- ② 2015-16年度 第8·第9グループIMのレポートが届きましたので、配布しております。
- ③ 本日のクラブフォーラムの資料を配付しております。
- ④ 米山梅吉記念館より「館報Vol.28」、秋季例祭のご案内、賛助会ご入会のお願いが届いておりますので回覧致します。



- ⑥ 明日8月30日(火) 18:30から「はまゆう」で第1回IDMを開催いたしますので、ご出席予定の方はよろしくお願い致します。
- ⑦明後日8月31日は18:30から「割烹津山」にて、歴史同好会定例会を開催致します。ご出席予定の方は、よろしくお願い致します。

クラブフォーラム「IMについて」

2016-2017年度 第8・第9グループ合同IM バズ・セッションのテーマについて

1. バズ・セッションとは

会議や演習に用いられる手法。

参加者を少人数のグループに分けて、自由に討議させ、そこで得られた結論をグループの代表者が発表し、さらに参加者全体としての討議を進めるというもの。



- (1)同じテーマをすべてのグループで話し合う(前年度は30グループ)。 (2)3つ程度のテーマを挙げて、グループ毎にテーマを分けて話し合う。
- 3. テーマ案
 - (1)大きなテーマとして、「地域で貢献したい奉仕活動 |が挙がった。
 - (2)グループ毎に話し合うテーマとして、「奉仕活動の活性化と知名度の向上」が挙がった。
 - (3)5大奉仕のうち、「社会奉仕」「職業奉仕」「クラブ奉仕」の3つのテーマを挙げる。
 - (4)その他に、ロータリークラブの規定の改正を受けて、「現在のロータリークラブに対して思うこと」が挙がった。

クラブフォーラムにおいて、「委員会・同好会活動のあり方」(特に同好会活動)、「四つのテスト」を取り上げてはどうかとの意見があった。











クラブ情報

2016~2017年度 国際ロータリー第2690地区 インターアクト岡山ブロック協議会

インターアクト委員長 日笠 常信

2016年8月27日仕)15:30~17:00 岡山理科大学付属中学校・高等学校会議室

参加者 インターアクト地区委員

岡山県内8ロータリークラブ各インターアクト委員長県内8高等学校各インターアクトクラブ顧問教諭

当クラブ参加者 岡本和夫会長 インターアクト委員長日笠常信

理大附属中学校 教頭山根美佐夫先生 顧問教諭是沢晋哉先生

同西野大樹先生 同小野恵子先生

総数計24名

討議事項 1.本年11月23日(水) 第40回岡山県インターアクトクラブ指導者講習会の準備等 研修内容:科学ボランティア他

2.本年度の地区大会の準備等についての質疑、応答

本年は会場代が浮くので熊本県・大分県の21イーターアクトクラブに一定額を寄付、各インターアクトクラブのビデオレターの同封

3.その他 地区インターアクトクラブ会計の剰余金の有効活用について

岡本会長 ご多忙の中、ありがとうございました。

ゴルフ同好会からのお知らせん

ゴルフ同好会幹事 西 岡 貞 則

第267回ゴルフコンペを予定通り9月11日(日)、後楽ゴルフ倶楽部において5組20名の参加で行います。また、第268回ゴルフコンペを下記の通り開催いたします。皆様のご参加お待ちしております。

- 1.日 時:平成28年10月12日(水) 集合時間:午前8:30 スタート:午前9:30
- 2.場 所:岡山カントリー倶楽部 桃の郷コース 岡山市北区田益483-1
- 3. 競技方法:18ホールストロークプレイ(ローカルルール適用)









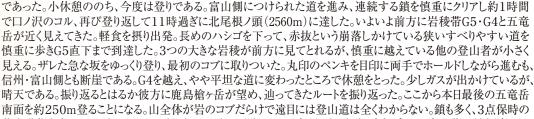


寄稿文「後立山縦走登山」(平成 28 年 8 月 10 日~ 13 日) 岡本 和夫 会員

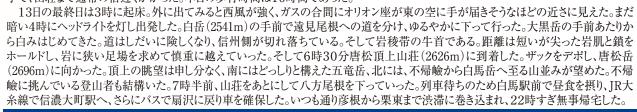
3年間遠ざかっていた百名山への登山をお盆休暇を利用して行った。単独で鹿島槍ヶ岳から八峰キ レットを経由して五竜岳へ至るという計画を立てた。

10日の仕事を終えて21時に出発した。途中何度も睡魔に襲われ、1時間ずつ計4回SAで仮眠をとった。安曇 野ICから大町方面に向かうにつれ、爺ヶ岳の3峰と双耳峰の鹿島槍ヶ岳が近づいてくる。扇沢の駐車場に車を 入れ、8時30分に出発した。登山口(1335m)で届けを出したが、しばらくぶりの本格的な登山で体力的にも自信 がなく、鹿島槍ヶ岳で引き返すこともありうることを係員に説明した。途中のケルン(1900m位)まではジグザグを <mark>繰り返し</mark>つつ、急坂を登って行った。その後、道は尾根に沿う格好で緩やかになると、はるか下方に扇沢の駐車 場、南に蓮華岳や針ノ木岳が見えだした。正午に稜線上の種池山荘(2451m)に到着した。西方かなたに立山 や剱岳が望める場所で軽食を摂り、ハイマツ帯の緩やかな道を爺ヶ岳南峰をめざして歩きだした。まもなくして 左の腓腹筋と内転筋にひきつけが始まり、持参の芍薬甘草湯を服用した。本日の宿泊予定地の冷池山荘はこ こからほぼ半円形に道を辿った北方にあり、その奥に優美な鹿島槍ヶ岳が鎮座している。爺ヶ岳南峰(2660m) 頂上からは大町市街地が望めた。南峰からは中央峰と北峰の頂きの直下をトラバースしながら下って冷池乗 越に至った。樹林帯を登りかえして午後3時に山荘(2380m)に到着した。初日の歩行時間は6時間半であった。

12日は午前5時すぎ、山荘北の広場でご来光を拝み出発した。テント場をすぎ、信州側が切れ落ちた道を 登って約1時間で布引岳(2683m)に、さらに約1時間で鹿島槍ヶ岳南峰(2889m)に達した。遮ることのない36 0度の眺めはすばらしく、はるか遠くに富士山・北岳・八ヶ岳、特にこれから歩いていく五竜岳までの険しい岩稜 帯を望み気を引き締めた。北峰まではいわゆる吊り尾根を成しており、やせて岩が幾重にも連なる危険地帯であ る。南峰より急な坂を細かくジグザグを繰り返して下り、岩稜帯へ進んだ。両手でホールドしながら越え、次は両 側が切れ落ちた尾根を進み、30分で八峰キレットへの分岐点に達した。ザックをデポし北峰(2842m)へ登った。 ここまでやって来る登山者の大半はヘルメットやハーネスを装備しており、万全の態勢である。いよいよ分岐点よ り北へ一歩踏み出し、前に進む決心はゆるぎないものになっていた。分岐点より見る南峰はまさに槍の名にふさ わしい山容であった。はじめ比較的ゆるやかな下りであったが、いつの間にか岩稜帯に変わり、鎖が登場してき た。八峰キレットの核心部は初めと終わりに梯子があり、間には幅40~50cm位の架橋や道幅の断崖を鎖を 持って進むという所である。緊張感をもって慎重に進み、最後は急な斜面を下ってキレット小屋に到着した。9時



基本動作を守ってやっとの思いで頂上(2814m)に到達した。西方より雲が湧き、唐松岳や五竜山荘が見え隠れしている。山荘(2490m) までの道のりはかなりありそうに見えた。頂上付近は大岩が多く、鎖もあって慎重に下った。段差がきつく、かつ滑りやすいこの下山道は苦 手で、山荘まで通常の倍近くかかった。本日の歩行時間は10時間であった。



9月お祝い行事

例会情報

本日のメニュー (9月5日)

真鯛のカルパッチョ 彩り野菜のサラダ 牛フィレ肉のグリエ 野菜でつないだソース デザート コーヒー パンとバター

次回のメニュー (9月12日(ヘルシー和食))

鮪炙り丼(舎利 煎り胡麻 温玉 大葉) 別猪口 もみ海苔 山葵 県産昔醤油 小 鉢 ちぎり蒸し鶏と胡瓜の和え物 くこの実

香物 三種 冷や物 穴子とろろ蕎麦 (茶蕎麦) 錦糸玉子 刻み葱 椎茸 山葵







